

市長あいさつ

皆さまこんにちは。

最近になってようやく、涼しく過ごしやすい秋らしい陽気となってまいりました。

秋は読書の季節でもあります。市では未来を担う子どもたちが豊かな心を育めるよう、学校図書館と市立図書館との連携事業やブックスタート事業、各種読み聞かせ会を通して、読書環境の提供と充実に努めています。

その一つとして、ボランティアの皆さまによる市内小学校3年生を対象に、学校訪問おはなし会が行われており、先日、私も取手小学校と取手西小学校でのおはなし会に参加させていただきました。

絵本や紙芝居の読み聞かせや、お話しの語りが行われ、気持ちのこもった抑揚のある読み聞かせや語りに、子どもたちは物語の世界に誘われていました。

皆さまも読書の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、『茨城県内初「こどもまんなかアクションリレーシンポジウム in とりで」を開催します』についてです。

「こどもまんなか社会」の実現にむけて、こどもや子育てに関わるすべての人が、ともにその理念を共有し、地域

で一体となって、こどもや子育て世帯を支える気運を醸成するため、こども家庭庁との共催により12月14日土曜日、取手ウェルネスプラザにて『「こどもまんなかアクションリレーシンポジウム in とりで」を開催いたします。

本シンポジウムは、茨城県内初の開催となり、スペシャルゲストに元サッカー日本代表の本並健治ほんなみけんじさんと丸山桂里奈まりなさん夫妻を迎え、理想の「こどもまんなか社会の実現に向けて、家庭や地域、組織や社会でできることをみんな考えていくものです。

子育て中の保護者や、子育てやこどもに関わるかた、企業・団体のかた、地域の子育て支援者などを対象として、お子様連れでもご参加いただくことができます。

皆さん、ぜひご参加ください。

次に、「令和7年度から保育施設の利用申し込みがオンラインに！」についてです。

取手市は、株式会社グラファーが提供するオンライン申請システム「Graffer スマート申請」を活用して、保育施設の利用申し込みをオンライン化します。

保護者は窓口にお越しいただくことなく、空いた時間に申請することが可能となるなど、申請にかかる時間が削減されます。

また、全国でも数少ない試みとして、保護者が入力した

内容を自動計算機能を備えた申請フォームで、点数化し、表示することができるものです。これにより利用調整の結果に対する保護者の納得感と利用調整事務の効率化を図ります。

以上で、私からの説明を終わります。